

平成30年度

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程  
国際乾燥地科学専攻

# 学生募集要項

## 10月入学渡日前入試

|      |                        |
|------|------------------------|
| 出願期間 | 平成30年4月 2日(月)～4月25日(水) |
| 試験日時 | 平成30年5月15日(火)～5月31日(木) |
| 合格発表 | 平成30年7月 6日(金) 11時      |

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程  
国際乾燥地科学専攻

〒680-8553 鳥取市湖山町南4丁目101番地

電話 +81-(0)857-31-5346 (直通)

E-mail ag-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

# 目 次

|                  |     |
|------------------|-----|
| 10月入学渡日前入試 ..... | 1 頁 |
| 教育研究分野一覧 .....   | 6 頁 |

出願書類

入学志願票

**平成30年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程  
国際乾燥地科学専攻10月入学渡日前入試学生募集要項**

本研究科国際乾燥地科学専攻では、創造力、自立力があり、かつ研究に対する意欲がある学生を学内外から積極的に受け入れ、優れた研究者を育成するために、10月入学渡日前入試を実施します。

また、この入試では、外国人留学生を積極的に受け入れます。

**1. 専攻, コース, 教育研究分野及び募集人員**

| 専攻        | コース   | 募集人員 | 教育研究分野                  |
|-----------|-------|------|-------------------------|
| 国際乾燥地科学専攻 | 特別コース | 若干名  | 「教育研究分野一覧」<br>(5頁) のとおり |

特別コースは、全科目を英語により行い、国際的に活動するための高度な実践力をつけた人材を養成する。

**2. 出願資格**

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年9月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成30年9月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号による)
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で22歳に達した者及び平成30年9月30日までに22歳に達する者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

なお、上記(9)又は(10)により出願する場合は、あらかじめ資格審査を実施しますので、主担当予定教員を通して鳥取大学農学部教務係で所定の申請書を受け取り、平成30年3月13日(火)までに提出してください。審査結果は、平成30年3月26日(月)までに通知します。

**3. 出願手続**

- (1) 出願期間  
平成30年4月2日(月)から4月25日(水)まで。

## (2) 出願方法

入学志願者は、主担当予定教員を通して次の書類を提出してください。

|                            |   |
|----------------------------|---|
| ① 入学志願票                    | 所定の用紙   |
| ② 口述試験発表要旨                 | 別紙のフォーマットを参考にして、これまでに学んだことをふまえて入学後に取り組みたい研究について、その要旨をA4判1枚にまとめてください。<br>なお、使用言語は英語とします。   |
| ③ 研究計画書                    | 国際乾燥地科学専攻において行なおうとする研究の具体的な計画を記した研究計画書を提出してください。(様式任意) (A4サイズで4ページから6ページ)<br>なお、使用言語は英語とします。  |
| ④ 成績証明書                    | 出身(在籍)大学等の長などが作成し厳封したもの。<br>ただし、外国人の志願者は、最終学校の成績証明書及び推薦書を提出してください。推薦書については、指導教員のほか、現在所属する研究機関、企業等の直接の指導者が作成したものでもかまいません。                                    |
| ⑤ TOEIC又はTOEFLの成績等         | 出願前2年以内に受験したTOEIC又はTOEFLの成績証明書(原本)提出してください。なお、英語を公用語とする国の大学を卒業した外国人で、在留資格「留学」で入学予定の者は不要とし、これに代えて、出身(在籍)大学等の長などが作成した英語による大学教育を受けたことを証する証明書を提出してください。後日返送します。 |
| ⑥ 卒業(見込)証明書                | 出身大学等の長などが作成したもの。   |
| ⑦ 検定料                      | 30,000円   |
| ⑧ 学位授与証明書<br>又は<br>修了見込証明書 | 出願資格(2)に該当する志願者のみ提出してください。短期大学又は高等専門学校の専攻科修了見込みの者は修了見込証明書及び学士の学位授与を申請する予定である旨の証明書を提出してください。   |
| ⑨ パスポート等<br>(外国人のみ)        | パスポートの写しを提出してください。  |
| ⑩ 健康診断書                    | 健康診断書(最近6か月以内に受診したもの)を提出してください。   |

## 4. 入試方法

入学者の選抜は、書類審査及びインターネット等を利用した口述試験により行います。

### (1) 書類審査

書類審査ではTOEIC又はTOEFLの成績等及び成績証明書を基に、語学力及び基礎知識を判定します。

### (2) 口述試験

入学志願者は、インターネット等を利用した口述試験を受けていただきます。口述試験は、平成30年5月15日(火)から5月31日(木)の期間に実施します。

## 5. 身体等に障がいのある入学志願者の事前相談について

身体等に障がいがある志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、平成30年3月13日(火)までに、次の事項を記載した文書(様式自由)に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、主担当予定教員を通して鳥取大学農学部教務係へ提出し、相談してください。

- (1) 志願者の氏名、住所(連絡先電話番号も記載してください。)
- (2) 志望の教育研究分野
- (3) 出身大学、学部、学科等
- (4) 障がいの種類・程度
- (5) 受験上特別な配慮を希望する事項
- (6) 修学上特別な配慮を希望する事項
- (7) 出身大学でとられていた特別措置
- (8) 日常生活の状況

## 6. 合格発表

平成30年7月6日（金）11時

鳥取大学農学部玄関に掲示するとともに、本人あて「合格通知書」を送付します。

## 7. 入学手続

入学手続の方法等詳細については、合格者あて通知します。

### (1) 手続書類等

・個人調書、学生証用写真台紙等

### (2) 入学料 282,000円（予定額）

・納入方法については、合格者あて通知します。

### (3) 授業料 年額535,800円〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕（予定額）

・納入時期は、前期は5月、後期は11月です。

・納入方法については、合格者あて通知します。

(注) ア 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ 入学料、授業料の免除（又は徴収猶予）を希望する場合は、入学手続時に納入しないでください。

ウ 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくことになります。

### (4) 学生教育研究災害傷害保険制度

本学では入学後に大学生活を安心して過ごせるよう、学生教育研究災害傷害保険制度に加入していただきます。保険料は2年間で1,750円です。民間の保険制度に比べてかなり安価な掛け金で傷害にあった際には補償されます。

(注) この保険は、正課中、課外活動中又は大学構内あるいは通学途中に被った不慮の事故で死亡、負傷した場合に支払われる傷害保険です。

詳細については、保健管理センター（E-mail hokekan-jimu@ml.adm.tottori-u.ac.jp）へお問い合わせください。

### (5) 手続場所 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学農学部教務係

## 8. 長期履修制度について

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年間）を超えて一定の期間（最長4年間）にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができるものです。

また、授業料は、3年間（又は4年間）で履修する場合は、2年間分を3年間（又は4年間）に分割して納めることになります。

なお、長期履修制度の適用を希望する者は、入学手続時に鳥取大学農学部教務係に申請してください。

## 9. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

(1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

(2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

(3) (2)に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

詳細については、学生部生活支援課奨学係（E-mail st-syougaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp）へお問い合わせください。

## 10. 入学料及び授業料の奨学融資制度について

入学料・授業料の免除又は徴収猶予を申請し、免除等の結果が出た後、本人の申請に基づき、本学が指定する金融機関から入学料又は授業料の融資（ローン）を受けられる制度があります。

(申込対象者)

・入学料・授業料の免除又は徴収猶予申請者のうち、免除等の基準を満たしている者

※別途、金融機関の融資審査があり、融資を受けられない場合があります。

※融資額の返済は、本学を修了後、元金及び利息分を月賦払いなどにより返済することになります。なお、在学中の利息分は本学が支払うため、学生の負担はありません。

詳細については、学生部生活支援課奨学係（E-mail st-syougaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp）へお問い合わせください。

### 1 1. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

詳細については、学生部生活支援課奨学係（E-mail st-syougaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp）へお問い合わせください。

### 1 2. その他

入学試験に関する照会は、主担当予定教員あてに行ってください。

## 口述試験発表要旨のフォーマット

A4 (210 mm × 297 mm) 用紙1枚

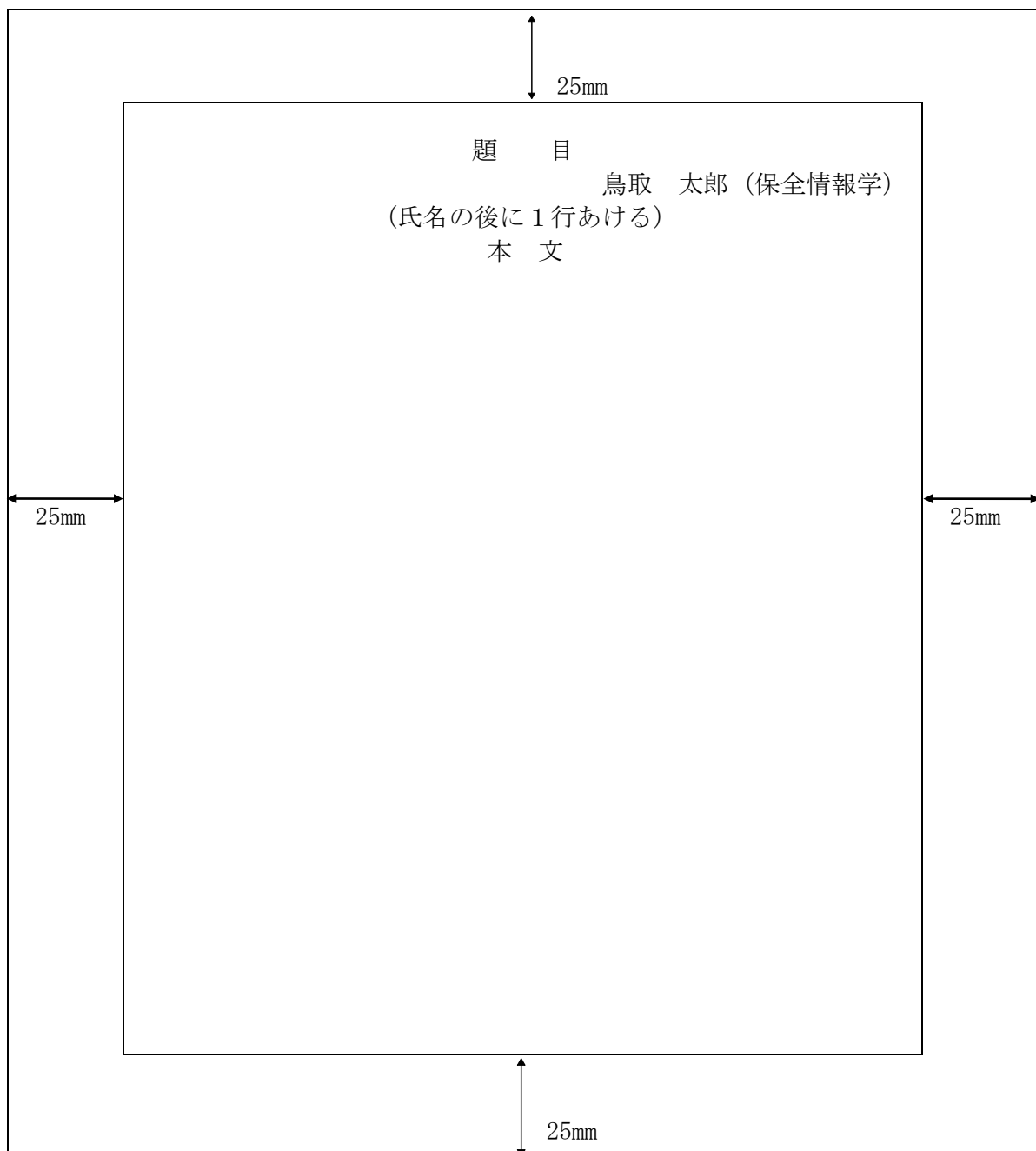
フォントサイズ等

題目、氏名、志望教育研究分野：12ポイント

本文：11または12ポイント

題目はセンタリング，氏名（志望教育研究分野）は右揃えする。

これまでに学んだことをふまえて入学後取り組みたい研究の内容，背景，方法などについて記載してください。図表（白・黒）などを入れてもかまいません。また，全て，ワードプロセッサを用いて印字し提出してください。



教育研究分野一覧

| 専攻        | コース               | 教育研究分野    | 教員名                       | キーワード1      | キーワード2        | キーワード3      | キーワード4     | キーワード5    |
|-----------|-------------------|-----------|---------------------------|-------------|---------------|-------------|------------|-----------|
| 国際乾燥地科学専攻 | 一般コース・特別コース       | 水土環境保全学   | 猪迫 耕二                     | 農地の修復       | 土壌-植物-大気連続系   | 灌漑排水        | 除塩         | 生物環境物理    |
|           |                   | 乾燥地環境資源学  | 遠藤 常嘉                     | 土壌資源        | 灌漑農業          | 塩類動態        | 土壌塩類化      | 環境修復      |
|           |                   | 農業造構学     | 緒方 英彦                     | 水利施設        | 農道            | 機能診断        | ストックマネジメント | 凍害        |
|           |                   | 分子育種学     | 辻本 壽                      | コムギ         | ストレス耐性改良      | 遺伝資源拡大      | 染色体工学      | 食糧不足      |
|           |                   | 保全情報学     | 恒川 篤史                     | 環境評価・モデリング  | リモートセンシング     | GIS         | 地域環境計画     | 持続可能な土地管理 |
|           |                   | 乾燥地地形学    | Paolo Billi               | 河川地形学       | 河川水文学         | 土砂動態        | ガリー侵食      | 土地劣化      |
|           |                   | 乾燥地灌漑排水学  | 藤巻 晴行                     | 節水灌漑        | ウォーターハーベスティング | リーチング       | 塩類集積       | 土壌侵食      |
|           |                   | 国際農業開発学   | 安延 久美                     | 地域研究        | 農業経営学         | 技術普及        | 農村開発       | 共有資源管理    |
|           |                   | 植物栄養学     | 山田 智                      | 塩害          | 養分吸収          | 作物の品質       | アクアポニックス   | 節水        |
|           |                   | 乾燥地緑化学    | 山中 典和                     | 乾燥地緑化       | 生態系修復         | 森林生態学       | 樹木耐塩・耐乾性   | 植物水分生理    |
|           |                   | 環境土壌学     | 山本 定博                     | 環境保全型農業     | 塩類土壌          | 土壌診断        | 土壌有機物      | 土壌生成・分類   |
|           |                   | 持続的土地管理学  | Nigussie Haregeweyn Ayehu | 土壌劣化        | 持続可能な土地管理     | 統合的流域管理     | 空間解析       | 水文モデル     |
|           |                   | 植物生理生態学   | 安 萍                       | 環境ストレス応答    | 環境ストレス耐性機構    | 乾燥地農業       | 塩性土壌       | 塩生植物      |
|           |                   | 乾燥地保健医学   | 大谷 眞二                     | 国際保健        | 環境医学          | 渡航医学        | 感染症        | 非感染性疾患    |
|           |                   | 乾燥地緑化保全学  | 衣笠 利彦                     | 乾燥・半乾燥草原    | 地球環境変化        | 人為的攪乱       | 二次遷移       | 植物の物質生産   |
|           |                   | 乾燥地応用気象学  | 木村 玲二                     | 接地境界層気象     | 水文気象          | リモートセンシング   | 乾燥度モニタリング  | ダスト       |
|           |                   | 乾燥地気候学    | 黒崎 泰典                     | 気候学・気象学     | ダスト(黄砂)       | 風食          | 気候変動       | 砂漠化       |
|           |                   | 地圏環境保全学   | 齊藤 忠臣                     | 土壌中の水・溶質の移動 | 水・土・植物の関わり    | 土壌侵食        | 環境計測技術     | UAV(ドローン) |
|           |                   | 水利用学      | 清水 克之                     | 農業水利        | 農地水文          | 灌漑システム評価    | 塩類集積       | マイクロ水力発電  |
|           |                   | 自然エネルギー工学 | 田川 公太郎                    | 太陽・風力エネルギー  | エネルギー生成・変換    | エネルギーシステム評価 | 淡水化技術      | 伝熱・物質移動   |
|           |                   | 乾燥地微生物学   | 谷口 武士                     | 微生物生態学      | 生態系修復         | 根圏微生物利用     | メタゲノム      | 菌根菌       |
|           |                   | 乾燥地作物栽培学  | 西原 英治                     | 薬用植物        | アレロパシー        | 連作障害回避      | LEDによる植物工場 | 炭化物       |
|           |                   | 施設環境材料学   | 兵頭 正浩                     | 埋設管         | 耐力評価          | 環境材料        | 水環境修復      | 産業副産物     |
|           |                   | 地球環境変化生態学 | Fei Peng                  | 地球環境変化      | フィールド実験       | 砂漠化         | 植物と土壌の相互作用 | 生態系       |
|           |                   | 環境無機毒性学   | 寶來 佐和子                    | 微量元素        | 野生生物          | ヒト          | 生態系        | リスク評価     |
|           |                   | 理論物理学     | 池野 なつ美                    | 相対論的量子力学    | 強い相互作用        | 中間子         | 原子核        | 数値計算      |
| 国際農業普及学   | Asres Elias Baysa | 農業普及論     | ジェンダーと開発                  | 農業経済学       | 農村開発          | アフリカ        |            |           |
| 水圏環境科学    | 吉岡 有美             | 地下水       | 流域水循環                     | 農地水利用       | 多面的機能評価       | 灌漑排水        |            |           |



平成30年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程

国際乾燥地科学専攻 10月入学渡日前入試

| 入学志願票                         |  |       | 受験番号  | ※   |
|-------------------------------|--|-------|-------|---|
| 志望専攻                          | 国際乾燥地科学専攻  | 志望コース | 特別コース |   |
| 志望教育<br>研究分野                  |  |       |       |   |
| ふりがな                          |  |       |       | <p style="text-align: center;"><u>写真</u></p> 正面、無帽、上半身<br>出願前3か月以内に<br>撮影したものを<br>貼付けてください。<br><br>縦 4cm<br>横 3cm |
| 氏名                            |  |       |       |   |
| 性別                            | 男・女  |       |       |   |
| 生年月日                          | 昭和・平成 年 月 日生   |       |       |   |
| 出願資格                          | 大学<br><br>学部<br><br>学科<br><br>昭和<br>平成 年 月 日 卒業、卒業見込、修了、修了見込 |       |       |   |
| 現住所                           | 〒 電話   |       |       |   |
| 合格時の通知先<br>現住所と同一の<br>場合は記入不要 | 〒 電話   |       |       |   |

- 注 1. 該当事項を○で囲んでください。  
 2. ※印欄を除きすべて記入してください。  
 3. 志願者は、志願する教育研究分野の教員と研究内容等について出願までに必ず相談しておいてください。

|               |          |  |          |
|---------------|----------|--|----------|
| 受験者氏名         |          | 受験番号   | ※        |
| 緊急連絡先         | フリガナ     |  |          |
|               | 氏名       | 志願者との続柄  |          |
|               | 住所       | 〒 電話   |          |
| 履 歴 書         |          | 出願資格(3), (4), (6)のいずれかに該当する志願者のみ, 初等教育(小学校)及び中等教育(中学)欄も必ず記入すること。 |          |
|               | 学校名及び所在地 | 修学年数   | 入学及び卒業年月 |
| 初等教育<br>(小学校) | (学校名)    | 年  | (入学) 年 月 |
|               | (所在地)    |  | (卒業) 年 月 |
| 中等教育<br>(中学)  | (学校名)    | 年  | (入学) 年 月 |
|               | (所在地)    |  | (卒業) 年 月 |
| (高校)          | (学校名)    | 年  | (入学) 年 月 |
|               | (所在地)    |  | (卒業) 年 月 |
| 高等教育<br>(大学)  | (学校名)    | 年  | (入学) 年 月 |
|               | (所在地)    |  | (卒業) 年 月 |
| (大学院)         | (学校名)    | 年  | (入学) 年 月 |
|               | (所在地)    |  | (卒業) 年 月 |
|               | (学校名)    | 年  | (入学) 年 月 |
|               | (所在地)    |  | (卒業) 年 月 |